

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第5回労働施設検討会議 議事要旨

1 日 時 平成28年3月22日(火) 午後6時45分～午後8時30分

2 場 所 西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(有識者3名)

福原大阪市立大学大学院経済学研究科長

寺川近畿大学准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

(行政機関11名)

大阪労働局 大谷会計課長補佐、五代儀職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、芝課長補佐、ほか3名

西成区役所事業調整課 室田課長代理、狩谷係長

(地域メンバー17名)

西村萩之茶屋第1町会長

吉田萩之茶屋第4町会長

茂山萩之茶屋第9町会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長

山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田社会福祉法人大阪自彊館第二事業部長

村井西成区商店会連盟会長

山田NPO法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事

中岡公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

佐々木代理(本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表) ※代理出席

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

労働施設の耐震化について

5 議事要旨

(1) 進行の概要

前回会議での質問について、事務局(大阪労働局、大阪府)から回答。

続いて、意見交換を実施。

(2) 主な議事の概要

《外部仮移転の検討を進めていくことについて》

有) 「命の問題である安全確保」と「本移転内容はじっくり」は、別議論で進めていくということについてはよろしいか。

・耐震をこれまでほったらかしにしておいて、「早急に」とは理解できない。

事) 仮移転はエリアの中で早急に実施するという知事命題を受けてお話している。

・異議ない。

・私も異議は特に無い。

・結論としては、労働団体もふくめて4者で話していくことを担保されるのであれば反対しない。ただ、これまでハード面の話が先行してきたということがあるのでソフトの話をしっかりしていくという前提で「耐震化して使えるのでは？」

「機能をしっかり作り直すべき」「機能、中身を拡大しさらに進歩するために建替えをすべき」との意見が団体内で出た。統一はできていない。

とにかく、ソフトの話ができるのであればOK。

・仮移転施設のリストが出てきている（配布資料）が、やってみればいいじゃないか。今の施設を補強しても、どのみち耐用年数の問題があるのであれば、いち早く、どこか設定して早く機能を移すシミュレーションをすべき。

・建設労働の職人が足りない。厚生労働省から職人養成所をつくる動きが出ている。若い職人の職業訓練等も含め本移転に向け中身もしっかり議論していけばいい。仮移転でも実験的に、やれるものはやっていくべき。

・新しいあり方も含めて新しい機能も仮移転とはいえ考えていくべき。

・学校に市営住宅を建てるとき、住宅も含めてあり方を考えてほしい。

・日雇労働者の中には生活困難でサポートを必要としている人がいる。

・本移転でも仮移転でもそんな人をサポートしていけるような形がいい。仮移転に反対はない。

・仮移転は構わないが、今のセンターで居場所として使用している人がいる。そういう人たちは昼間どういう場所で過ごすのか。

大阪市の考えることだと思うが、居場所機能についても考えてほしい。

・今決めなくてはならない、というところに疑義がある。

例えば行政がいくらか用意して、その金額の範囲内で何をしても良いというならOKだが、今は壊す議論だけになっている。

壊すことだけが決まれば、壊した後で何ができるかわからない。

次できるもののビジョンがない限り、新しいものの姿の担保が何もない。

当事者を大事にしないと駄目。ここで決めたことが利用者に伝わっているか？

行政から利用者への工法や意見交換、説明等のプロセスが大事。

住宅の住民が出て行くには2～3年時間がある。センターをこわすのに2、3年の猶予があるわけだ。

戻ってきたときに10分の1になっていたり…等が不安。それが悪いとは言わない。合理的な説明が欲しいだけ。

有) 本移転のことはこれからじっくり考えていかないといけないということ。

・4月から職業紹介をはじめようだが、検討中とか具体的に説明できる状況ではないとはどういうことか？

有) それは関係ない。

・これまで耐震をやらずここに来て「早急に」という。

それで、つぶすために賛同を得たいなんておかしくないか。

有) 耐震の法律ができたので、学校とかも今慌ててやってる。

それは世の中がそう動いている。

なので今までの耐震の話がどうだとか言っても仕方ない。

・耐震については、無様な市構想を考えれば、建替えの方が効率良いと思う。

仮移転についてはどんな機能を入れればいいのか、そのためにどれぐらいの広さが必要なのかわからなければ意味がない。

居場所機能についても考えないと。大阪市が考えることだが。

有) 仮移転といえ、面積や広さがの情報が必要だということ。

・業者がそこで離れてしまうと、いやでも縮小してしまう。

スペースの問題は非常に重要で、ここで失敗はできない。前向きに話したい。

今後（本移転）も見据えて仮移転議論をすべき。

・仮移転についてシミュレーションをしているのか。

であればそれを披露してくれたらいいのではないか。

有) 資料を用意してくれてると思うので、後でそれを示す。

・ネットを張ったり修繕したり、緊急的に応急処置はしているが、耐震より建替えがいいのではないかと思う。

・多くの人が利用してる。安心安全という観点から、一日も早く仮移転させていただきたい。その方針を出してほしい。仮移転と本移転の議論は分けていくべき。府下の労働施設は西成Cだけではない。エル大阪には女性就職や障がい者、若者就職もある。

・西成Cがこれらも含めて全てやっていくというのは、やはり別で議論して頂きたいと思うし、そうしていくべきだと思う。なんにせよ仮移転の話を進めてほしい。

事) まず、仮移転をするかしないか。

4者会議の担保については、この場、まちづくり会議において、その枠組みにおいて議論させていただきたい。

これは知事からも、地域の声を反映させていくということで「信用してほしい」との発言があったと思う。我々も知事の発言に沿って対応していくのでここは信用して欲しい。

・第2住宅については、決まっていないということについて市長が決まってると思うのはどうかと思う。仮移転が反対ということは言ってない。協力はする。後々どこへいけばいいのか。

有) 知事についてはどうかということか。

事) 10月に知事が出席した際、耐震化で機能は維持すると言っている。

・駅前活性化の北半分、南半分について、第2住宅の移転がきまっていない現状のままだと南側の端っこで労働施設をつくれって結果になるのでは。こんなものを作りますということをもってもらわないと不安。

有) 生活もあるので、仮移転するにも本移転するにもそういうところも考えて検討してほしいということか。

・検討するも何も候補リストに公園が入ってる。公園つぶすのは反対だと言ったはず。

有) それはこれからの検討。どういう仮移転が可能なのかこれからの検討していくこと。

本移転についてはじっくり、時間をかけて考えていく。それでよろしいか。

・中身についてふれられてないじゃないかほとんど。

有) それはこれから。いかがですか皆さん。

第一段階として、中身を議論するためにも、仮移転の検討するということ。
仮移転のシミュレーションを含めて検討していく。

そして、本移転の中身については、じっくり検討していく。

(委員全員)：了

有) それでは進める。

《仮移転候補地について》

事) ※(周辺 8 候補地 MAP 提示。)

これまでの会議で名前があがった場所、周辺近隣地を示したもの。

センター中心から 150m で歩いていけるところとして円を描いている。

そして、周辺地としてはこれだけの数の候補が可能性としてはあるが、

「労働市場のポテンシャルを落とさない」「公園をつぶさない」「あいりん地域内」ということで、改めて示したのが、この資料である。

(3 候補地 MAP) ※敷地面積と掲載情報読み上げ

有) 今は実際どれぐらいの大きさ？

・職安、西 C 事務所、より場とかの述べ床面積ということで、それが必要と。

事) 全体の面積は調査結果の表紙にもあるように 10, 500 m²

事務所面積としては、職安が約 700 m²、センターが約 1, 000 m²。

事) 建蔽率と容積率を示しているが、南海高架下だと天井があるのでそれが上限。

・2 階建てぐらいか。

事) 西成 C (C ブロック) で 2, 000 m² ぐらいは取れるのではないかと。

事) D ブロックは新今宮から離れると高架が低くなっていており、この区画では 2 階建ては厳しいと南海から説明を受けている。

・職安は、事務所を狭めれば寄場は確保できるか。

事) 寄場というか労働者待合は、事務所を縮小することによって確保ができると思っている。

有) 偶然にも、周辺住民とのトラブルがなくスッと入れる場所が空いている。

・南海は商売できるような場所ではない。10 年ここで商売していたが雨漏り、騒音などがある。

有) 電車が通る際の騒音は今の技術である程度遮断できるのであれば雨漏りも含めて問題をクリアできるのではないかと。

・西成 C の事業の機能を保っていくにはどれぐらいのスペースが必要か？

事) 事務所機能として 1, 000 m² ほどいる。

・技能講習、管理室含めてそれぐらい。

有) どういう機能がどういう風に南海高架下に入るかイメージしにくい。

今の機能の中に入れたときに、どれぐらい必要なのか。

一度イメージの提案を出して頂く必要がある。そのシミュレーションがいる。

有) 講習事業は、京都や茨木の会社へ行ってやっている。

センターの中でやらなくてもいいし、そんなスキルもない。

・職業訓練は専門機関につないでやってもらっている。

それはかなりの規模が必要となる。それは本移転の議論で。仮移転では無理がある。

有) もう少し踏み込んだ資料が必要である。

職業訓練のように外に分ける機能の部分なども含めて。

事) 8 候補全部のシミュレーションは時間がかかりすぎ困難。

とりあえず会議で名前が出たもので 8 つ挙げたが、これまでの話の中での可能性等考慮して 3 つに絞ったのがこの資料。

この 3 候補地でのシミュレーションとしたい。

有) 可能性のない候補地は省きましょうか。

- ・コスメ跡は可能性あるか。
- ・浪速区である。

有) 線路の向こう側で、事業者や労働者が離れるという事態をより招きやすくなるのではないか。

- ・仮移転するとしても、最大限広く使える場所を可能性として、出してもらわないと。

事) コスメ跡は面積は広いが、この通路にいたる自動車道が限られている。

これが原因でバス車庫計画の件も立ち消えた。

ちんちん電車の踏み切りもあり、交通としては輻輳している状態。

これで結局話がまとまらなかった。

一見面積は広いが、そういった点も考慮いただきたい。

- ・浪速区は相対求人場所としては違うということだ。

有) 府でこういった条件があり、どういう場所にどのような機能を入れたら

どんな風になるかということを出してもらおうということ。

- ・労働行政へ宿題を出したい。これから、具体的に労働行政として今後できることを中身として示してほしい。

機能の部分でどんな可能性があるかを行政側から出してほしい。

事) 新しいセンターで残すと知事が言った今の機能に加え、プラスの部分や将来については、すぐに出せと言われても出せないし、勝手に府からは出すわけにはいかない。この場でつめた議論をじっくりやっていくということ。

- ・意見を聞きすぎるといえるのかどうか。行政が地域に任せ切りにしていないかと。もっと具体的な投げかけも行政側から欲しい。
- ・今の段階で、どんなことを考えているのかそれを出してもらえれば良いのでは。

有) これから仮移転先について具体的な内容にも入っていく。

仮移転シミュレーションとして仮移転先へどんな機能を入れることができるか。

これら 3 つの候補地における提案として国・府に出して頂きたい。

有) 行政が地域の意見をしっかり汲み取っていききたいという姿勢を貫いているのはしっかり見える。今後は有識者サイドからも提案していくことが求められているものと思う。

【まとめ】

- ・「命の問題である安全確保」と「本移転内容はじっくり」は、別議論で進めていく。
- ・仮移転のシミュレーションを含めて仮移転の検討に入る
次回の検討項目を確認
 - ・ 3 候補地（北公園、萩小跡、南海高架下）で仮移転シミュレーションをしていく。

6 第 6 回労働施設検討会議の日程について

次回検討会議 → 4 月 22 日(金) 午後 6 時 45 分～ (後日、開催を案内。)